



Matsuyama
Business
College

松山デザイナー専門学校
Webクリエイター学科

令和7年度 シラバス

〔1年〕

令和7(2025)年度入学 Webクリエイター学科 Webクリエイターコース カリキュラム一覧

必修/ 選択	区分	科目名	種別	担当者	1年		
					前期	後期	単位
必修		デザイン概論	講義	梅本	30		2
		トレンド分析技法	講義	瀧川	30		2
		プレゼンテーション	講義	池住		60	4
		Webワード分析	講義	池住		30	2
		Webサイト設計	講義	大野		30	2
		グラフィック実習Ⅰ	実習	武智	60		2
		グラフィック実習Ⅱ	実習	池住		60	2
		Webデザイン構築	講義	永田	30		2
		WebプログラミングⅠ	実習	池住	120		4
		WebプログラミングⅡ	実習	梶田		120	4
		情報リテラシーⅠ	講義	高橋	30		2
		情報リテラシーⅡ	講義	安藤		30	2
		ビジネスアプリケーション	実習	四田	30		1
		制作実習Ⅰ	実習	池住	120		4
		制作実習Ⅱ	実習	池住		120	4
					450	450	39
必修科目 合計					900		39
年間合計時間/単位数					900		39

- 1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。
- 2 選択科目は、小計欄に記載されている時間数及び単位数以上になるよう履修すること。
- 3 選択科目の時間数及び単位数は、履修開始時期にのみ記載し、次年度以降も履修可能とする。

授業科目	デザイン概論	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	梅本 卓弥	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年
授業科目の テーマと 目的	デザインの根本となる基礎理論を重点的に、Webデザインでの企画、発想から伝えるデザインの具現化、運用にいたるまでに必要な基礎的項目を学習する。これから始まる制作についてのスケジュールの説明を行い、「まず作る」ことから始めることを理解する				
学習到達 目標	デザイナー、Webクリエイターとして、どのような思考をもって知識や技術を現場で活かすのかを理解させる Webクリエイターとして、どのような知識や技術が必要なのかを理解させる				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 WEBデザイン、グラフィックデザイン、映像制作等の実務経験を活かし、学生に指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	ガイダンス・Web人材の展望	授業科目のテーマと目的の解説。Web人材の展望について			
3～4	サイト検索と解説	学生が興味のあるサイトを探して個人発表後、GWと解説を行う			
5	イントロダクション	授業科目のテーマと目的を解説。学生一人一人にアンケートを実施し、意欲・目的を認識する。各生徒とコミュニケーションを深める			
6	デザインとは	デザインとはなにかを解説。また、デザイナーに必要とされる能力について、広義のデザインと狭義のデザインについて解説			
7～10	デザイン理論について	4つのデザイン理論をもと、デザインはセンスではなく理論であることを学習			
11～12	WEBデザインの基礎知識	主に単位やデータ形式、サーバーやドメインといったWEBデザインに必要な基礎知識を学習			
13～14	WEBデザインの基本	WEBデザインを行う上で重要な情報をワークフローを基に学習。また分担制作をする際の役割と注意点を解説			
15～16	WEBデザインの企画	企画をたてるためのヒアリング能力について、各種契約契約書、著作権、知的財産解説について学習			
17～18	WEBデザインの設計	ヒアリングシートを基にサイトマップ、ワイヤーフレーム、モックアップ、システム設計について学習			
19～22	WEBデザインの制作	デザインカンプをおこなうために必要な基礎知識とトンマナ設定について、コーディング、システム開発についてを学習			
23～24	WEBデザインの流行	WEBデザインの現在の流行りと注意点、システム設計の現状などを学習			
25～26	WEBサイトの運用	公開後のWEBサイトの運用とマーケティングについて学習			
27～30	修了テスト	修了テスト実施と解説			
使用テキスト 教材・教具	『オリジナルテキスト』 『いちばんよくわかるWebデザインの基本きちんと入門』伊藤 庄平/SBクリエイティブ				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	小テスト20%、発表20%、修了テスト60%で評価する				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	トレンド分析技法	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	瀧川 倫太	時間割	月曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年
授業科目の テーマと 目的	ネット上で公開されているWebページを検証し、現在の「はやりのレイアウト」を掴む技法を学習。そのデザインを選択した意図や技術的な進歩がデザインに与える影響など、背景にある要因を読み取るための手法を学ぶ				
学習到達 目標	クライアントニーズとユーザーニーズに対し、「見た目のトレンド」「技術的なトレンド」「競合分析」など他角的に分析しサイト制作に落とし込める知識を身につけるようになる				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無 【実務経験内容】 ECサイトの運用、コーポレートサイト等のディレクションからリリースまでのワンストップ制作の実務経験を活かし、学生に指導する				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	Webサイトの歴史	Webサイトのデザインや役割における変化の歴史			
2	Webサイトの種類	サイトの種類とそれぞれの役割 ※小テスト			
3	業種ごとのトレンド遍歴	業界や業種ごとのWebにおけるトレンドの変化 ※小テスト			
4	参考サイトの探し方	Webサイトの運用とSEOについて			
5～6	デザイントレンドの探り方	デザインにおけるトレンドの探り方			
7～8	第1回分析レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自発表する ※レポート			
9	技術的トレンドの探り方	Webにおける技術的なトレンドの探り方 ※小テスト			
10	既存サイトの改善分析	対象となるサイトの問題点の洗い出し方と改善案 ※小テスト			
11～12	第2回分析レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自に発表してもらう ※レポート			
13	改善事例の考察	リニューアル後の改善事例の考察			
14～15	第3回分析レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自に発表してもらう ※レポート			
使用テキスト 教材・教具	オリジナルデータ教材、スライド				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、レポート発表内容70%で評価する				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	プレゼンテーション	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	池住 篤子	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年
授業科目の テーマと 目的	聞き手にわかりやすく伝え、発表を通じて相手を説得し、納得させ、購買行動など何らかの行動を起こさせるプレゼンテーションについて学習する				
学習到達 目標	プレゼンテーションに関する知識を習得し、わかりやすい資料作成、説得力のある発表ができるようになる				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションの定義について学習する			
3～4	1分スピーチと振り返り	良い印象を与える話し方と態度について学習する			
5～6	ビブリオバトル	3分の発表をし、相手の心を動かす「話し方」について学習する			
7～8	プレゼンの「組み立て方」	内容を組み立てる「5つの方法」について学習し、相手の心を動かすプレゼン「構成」について学習する			
9～10	プレゼン①	決められたテーマで指定時間内発表し、振り返りで改善点を見つける			
11～14	内容の整理と説得力のある資料作成	内容を構造化、と階層的な整理について、わかりやすい資料作成のポイントについて学習する			
15～16	プレゼン②	決められたテーマで指定時間内発表し、振り返りで改善点を見つける			
17～20	発表準備	テーマをきめて、各自資料作成と発表準備をする			
21～22	プレゼン③	決められたテーマで指定時間内発表し、振り返りで改善点を見つける			
23～26	発表準備	テーマをきめて、各自資料作成と発表練習をする			
27～28	期末:プレゼン④	期末(最終)プレゼンテーションを行う			
29～30	制作発表Ⅱプレゼン準備	学年末制作発表でのポートフォリオサイト発表の準備を行う			
使用テキスト 教材・教具	『やさしい・かんたん プレゼンテーション(基本のキホン)』日本能率協会マネージメントセンター (ISBN9784800591258)				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	プレゼン発表80%、小テストおよび授業内課題20%で評価する				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	Webサイト設計	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大野 淳	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年
授業科目の テーマと 目的	サイト設計に必要なフェーズやドキュメントの作成方法について、概要設計、フロー図、ワイヤーフレームの作成などについて学習する				
学習到達 目標	Webサイトに関する設計資料、基礎知識の習得				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 クライアントとのディレクション業務、ワイヤーフレーム作成、タスク管理、セールスライティング、SEOライティング、コピーライティング、SEO対策業務経験を活かし、学生に指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	ガイダンス	授業科目のテーマと目的の解説			
2	ディレクションに求められるもの	今のWEBディレクションに求められるものの概要について			
3	制作～ミッション～ゴールの確認	制作現場における法令、プライバシーポリシー、制作のゴールについて			
4	企画フェーズ	制作前にクライアントへ求めるヒアリングシートの内容理解			
5	UXの考え方	WEBサイトを利用するペルソナの作成方法や考え方、UXについて考える			
6	要件定義書の考え方	要件定義書への落とし込みや理解について			
7	設計フェーズ	WEBサイト構築前のワイヤーフレームについての理解			
8	ライティングについて	SEOライティング、コピーライティングについての概要と使い方について			
9	SEO設計	WEBサイトのSEO対策における基本的な設計			
10	開発環境について	開発環境におけるユーザビリティについての考え方			
11	制作の進行管理について	制作現場におけるコミュニケーションツールの紹介			
12	WEBサイト公開の注意点	WEBサイト制作後の公開前の最終確認項目について			
13	運用について	WEBサイトを運用する上でのPDCAの回し方			
14	試験対策	終了試験の対策			
15	まとめ	修了試験の実施			
使用テキスト 教材・教具	『第3版 Webディレクションの新・標準ルール』栄前田勝太郎 岸正也/エムディエヌコーポレーション (ISBN:9784295204220)				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	小テスト50%、修了試験50%で評価する				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	グラフィック実習Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	武智 明子			時間割	月曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと目的	グラフィックデザインの基礎知識とAdobe PhotoshopとIllustratorの基本的な操作方法と制作方法について理解する						
学習到達 目標	グラフィックデザインの基礎、素材の作成や修正の技術、画像編集に必要な基礎知識を習得する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 商社企画部にて販促物企画制作3年。印刷会社にて7年広告促物の制作企画に携わる					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	イントロダクション		現場でグラフィックデザインに必要な基礎知識とアプリの基本について				
2	Illustrator		画面の基本操作				
3～4	Illustrator		図形や線を書く				
5～6	Illustrator		オブジェクトの線タウト基本的な変形				
7～8	Illustrator		色と透明度の設定				
9～10	Illustrator		オブジェクトの編集と合成				
11～12	Illustrator		線と文字の設定				
13	Illustrator		覚えておきたい機能、仕事でよく使う機能				
14	課題制作		Illustratorを使った自由制作をし発表				
15～16	Photoshop		レイヤーの操作と色調補正				
17～18	Photoshop		選択範囲の作成				
19～20	Photoshop		色の設定とペイント操作				
21～22	Photoshop		レイヤーマスク				
23～24	Photoshop		文字、パス、シェイプ				
25～26	Photoshop		画像の修正				
27～28	Photoshop		フィルターとレイヤースタイル				
29	Photoshop		IllustratorとPhotoshopの連携				
30	課題制作		IllustratorとPhotoshopを使い自由制作をし発表				
使用テキスト 教材・教具	『イラレの5分ドリル』浅野桜/翔泳社 『フォトショの5分ドリル』浅野桜/翔泳社						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	理解度テスト30%、提出課題70%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	グラフィック実習Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	池住 篤子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと 目的	「Adobe Photoshopクリエイター認定試験(スタンダード)」と「Illustratorクリエイター認定試験(スタンダード)」の資格取得を目指す。また動画編集の基本操作と基礎知識について理解する						
学習到達 目標	試験対策を通じて画像及び動画編集に必要なグラフィックツールの使い方や知識を習得する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	授業概要と復習		授業科目の目的と概要説明、前期グラフィック実習Ⅰの復習と演習				
3～4	Photoshop		練習問題 & 解説				
5～6	Photoshop		模擬問題1 & 解説				
7～8	Photoshop		模擬問題2 & 解説				
9～10	Photoshop		模擬問題3 & 解説				
11～12	Photoshop		模擬問題4 & 解説				
13～14	Photoshop		Photoshop試験				
15～16	Illustrator		練習問題 & 解説				
17～18	Illustrator		模擬問題1 & 解説				
19～20	Illustrator		模擬問題2 & 解説				
21～22	Illustrator		模擬問題3 & 解説				
23～24	Illustrator		模擬問題4 & 解説				
25～26	Illustrator		Illustrator試験				
27～28	グラフィック応用		svg画像を利用したcssアニメーション作成				
29～30	Premire		Premireの概要説明、基本操作と簡単な編集作業				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テストおよび提出課題の完成度を60%、Photoshopクリエイター認定試験の試験結果20%、Illustrator®クリエイター能力認定試験結果20%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	Photoshopクリエイター認定試験(スタンダード): 2024年12月 Illustratorクリエイター認定試験(スタンダード): 2025年2月		
備考							

授業科目	Webデザイン構築	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	永田 俊之	時間割	火曜 1限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年
授業科目の テーマと 目的	ネット上で公開されているWebページを検証し、現在の「はやりのレイアウト」を掴む技法を学習。そのデザインを選択した意図や技術的な進歩がデザインに与える影響など、背景にある要因を読み取るための手法を学ぶ				
学習到達 目標	クライアントニーズとユーザーニーズに対し、「見た目のトレンド」「技術的なトレンド」「競合分析」など他角的に分析しサイト制作に落とし込める知識を身につけるようになる				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 企業サイト、キャンペーンサイト、LP、システム案件のフロント、ECサイトなどジャンルや業種を問わず100社程度のデザイン構築経験を活かし、学生に指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	Web概論	Webサイトの基礎的な知識とWeb制作の流れを掴む			
2	Webデザインとは Webデザイナーの役割	グラフィックデザインとWEBデザインの考え方の違いや、Webデザイナーの役割(フロントエンドエンジニアとの違い)を学ぶ ※小テスト			
3	使用ソフトの紹介	Webデザインで使用されるソフトとその特徴の違い ※小テスト			
4	素材の活用方法、Webフォ ントについて	アイコンや画像素材の活用方法とWebでよく使用されるフォントとその理由やその他、便利ツールの活用方法 ※小テスト			
5	配色について	Webデザインにおける配色について ※小テスト			
6	ニーズを意識したデザイン	クライアントニーズとユーザーニーズの違いを知り、どのようにデザインに落とし込むのかを学ぶ ※小テスト			
7	ワイヤーフレームについて	ワイヤーフレームの役割と重要性			
8~9	デザイン実習 (ワイヤーフレーム)	先んじて学習したワイヤーフレームに関する考え方を踏まえた上で、実際にワイヤーフレームを作成する ※課題提出			
10	コンテンツ幅の考え方とモ バイルファーストについて	コンテンツ幅を意識したデザインの重要性を知り、モバイルファーストを意識したデザインの考察			
11~12	デザイン実習 (レタッチ)	photoshopを使用したレタッチの基本的な作業を学ぶ ※課題提出			
13~14	デザイン実習 (バナー)	photoshopを使用したバナーのレイアウトを学ぶ ※課題提出			
15	期末テスト	前期総まとめの筆記テスト ※期末テスト			
使用テキスト 教材・教具	【1-15】 オリジナルデータ教材、スライド				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	小テスト10%、提出課題10%、実習評価40%、および期末試験40%で評価する				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	Webプログラミング I	時間数 (コマ数)	120 (60)	単位数	4
担当教員 (資格等)	池住 篤子	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年
授業科目の テーマと 目的	HTMLとCSSの基礎知識を習得し、基本的なレイアウトのWebサイト制作が可能なレベルのコーディングスキルを習得する。併せて、Basicスキルを保証するためWebクリエイター能力認定試験HTML5対応エキスパートの資格を取得する				
学習到達 目標	基本的な構造のWebページを作成するコーディング技術の習得と「Webクリエイター能力認定試験HTML5」の資格取得				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無 【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～4	概要説明とHTML基礎、CSS基礎	授業内容、到達目標について、Webページ作成の基礎知識、HTMLの役割とcssの役割、HTMLの基本構造と主要なタグについて			
5～8	環境設定とHTML基礎	VisualStudioCodeのインストール。ページ内の汎用パーツの作成(ナビゲーション、図表入りテキスト、テーブル、フォーム)			
9～12	CSS基礎	書式とルールについて、セレクトタについて 装飾プロパティとレイアウトプロパティについて			
13～14	Webページの構成とディレクトリ構造	レスポンス対応について、スクリプトやwebフォント、cssファイル等の読み込みについて学習する。セレクトタの指定方法について理解する			
15～18	マークアップ演習	見本を参考にテキストをマークアップし、cssで装飾する			
19～24	スタンダード模擬問題	スタンダード模擬問題を制限時間内に解く。修正、解説			
25～36	エキスパート模擬問題	模擬問題を制限時間内で解く。修正、解説			
37～38	スタンダード模擬問題	「Webクリエイター能力認定試験HTML5」の認定試験を実施する			
39～46	Webページレイアウト	ページ内のパーツをブロックに分けてレイアウトする手法について練習する			
47～56	レスポンスデザイン	レスポンス対応について、IDやクラスの指定について練習する			
57～58	装飾について	スクリプトやwebフォント、cssファイル等の読み込みについて学習する			
59～60	期末テスト	見本を参考にして制限時間内にページを作成する			
使用テキスト 教材・教具	『初心者からちゃんとしたプロになる Webデザイン基礎入門 改訂2版』栗谷幸助他/エムディエヌコーポレーション				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	授業で作成する課題の完成度および小テストを40%、期末テストを40%、Webクリエイター認定試験の試験結果20%で評価する				
履修上の 留意点		検定試験の 概要	Webクリエイター能力認定試験HTML5対応エキスパート:2025年7月		
備考					

授業科目	WebプログラミングⅡ		時間数 (コマ数)	120 (60)	単位数	4
担当教員 (資格等)	梶田 一貴		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年	
授業科目の テーマと 目的	指定された仕様に従ってのHTML/CSSとjQueryを使ったWebサイトの制作。WebプログラミングⅠで学習した内容にJavaScriptを加え、指定された仕様に従ってHTML/CSSベースのWebサイト制作をブロック分解の手法を用いて行うことで応用力を身につける					
学習到達 目標	指定された仕様に従ってのHTML/CSSとJavaScriptを使ったWebサイトの制作					
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	授業概要説明とHTML/ CSSの復習		この授業の概要と到達目標についての説明。前期授業「WebプログラミングⅠ」の学習内容であるHTML/CSSの復習			
3～6	モックアップのブロック分解		Webページをブロックに分解して捉えていく手法について順を追って学習する。オーソドックスなデザインのWebサイトを、PC版、タブレット版、スマートフォン版のそれぞれで分解する			
7～10	HTMLのコーディング		ブロック分解したものについてHTMLでコーディングを行う。大枠のコーディングから始め、徐々に細部へのコーディングへ移っていく。ブロック分解をどのようにコーディングに活かすかについて学習する			
11～14	CSSのコーディング		HTMLと同様に、大枠のコーディングから始め、徐々に細部へのコーディングへ移っていく。全体で共通しているスタイルは何か、汎用性のあるclassはどのように作るのか、メンテナンス性・拡張性は考えられているかなどを確認しながらコーディングを行っていく			
15～18	CSSでのレスポンシブ対応		PC版、タブレット版、スマートフォン版のデザインを見比べながら、どのサイズでどう変化しているのかに注目しながらCSSに手を加えていく			
19～25	課題制作 (HTML/CSS)		指定された機能を取り入れたWebページをブロック分解し、それに基づいてHTML/CSSで期間内に制作する			
26～28	授業概要説明とHTML/ CSSの復習		この授業の概要と到達目標についての説明。1年次授業「WebプログラミングⅡ」の学習内容であるHTML/CSSの復習			
29～30	JavaScriptの文法と基本的な機能		Webサイトやシステムの開発に使われているスクリプト言語JavaScriptは具体的にどのような言語なのか、JavaScriptで実現できることは何かなど、言語的な位置づけとプログラム記述の概要について学習する			
31～36	データのインプット/アウト プットと加工		データのインプットとアウトプットについて、コンソール、フォーム、イベントを用いて学習し、併せてデータの加工についても学習する			
37～42	JavaScriptの応用		カウントダウンタイマー、ページ遷移、Cookieを使った承認パネル、クリックによるサムネイル切り替え、スライドショーなどを題材にしながら、JavaScriptを応用したプログラミングを学習する			
43～46	ライブラリの理解と応用		JavaScriptのライブラリを用いて、DOM操作、Ajaxについて学習する			
47～50	外部データを活用したアプリ ケーションプログラム		位置情報や外部データを活用したWebアプリケーションを作成する。題材として、向こう5日間の天気予報をブラウザへ表示させるWebアプリケーションを作成する			
51～60	課題制作 (JavaScript)		指定された機能を取り入れたWebページをHTML/CSSとJavaScriptで期間内に制作する			
使用テキスト 教材・教具	『HTML/CSSブロックコーディング デザインをすらすら再現できる』笠井枝理依/翔泳社 『確かな力が身につくJavaScript「超」入門 第2版』狩野 祐東 (著) SBクリエイティブ					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題制作 (HTML/CSS) 30%、課題制作 (JavaScript) 30%、期末試験40%で評価する					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考						

授業科目	情報リテラシー I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	高橋 良昌			時間割	木曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと 目的	コンピュータについての基礎知識を学習する。学生が授業で使用するAppleノートパソコンの設定、OSの機能解説や使用方法、接続可能な周辺機器、ネットワークや使用するソフトウェアについて。企業活動、市民生活でも情報セキュリティは重要な課題となっている。社会人として必要な情報セキュリティの概要を学習する						
学習到達 目標	Apple/パソコンの環境の設定。授業で使用するソフトウェアのインストールと設定。OSの機能理解。社会人として守るべきセキュリティや今ブライス(法令遵守)の知識を持つこと						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 情報セキュリティ監査技術者として(コンサル、社員教育、監査・対策)などの業務					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	ガイダンス	授業科目のテーマと目的の解説。パソコン、周辺機器初期作業					
3～4	アプリケーション	マイクロソフト365、Adobe、他ソフトウェアのインストール作業					
5～6	周辺機器設定	プリンターや周辺機器インストール、設定作業					
7～10	OSの機能①	オペレーションシステム(OS)についての概要説明					
11～12	OSの機能②	デスクトップとFinderについて					
13～14	OSの機能③	フォルダやファイル操作と外部ストレージの使用について					
15	前期末テスト	前期末テスト実施と解説					
使用テキスト 教材・教具	『改定第5版 基礎からわかる情報リテラシー』森本尚之/技術評論社						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト20%、発表20%、前期末テスト60%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	情報リテラシーⅡ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	安藤 保	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年
授業科目の テーマと 目的	いまや企業活動、市民生活でも情報セキュリティは重要な課題です。Webクリエイターまた社会人として必要な情報セキュリティの概要を体系的に学習します				
学習到達 目標	社会人として守るべきセキュリティやコンプライアンス(法令遵守)の知識を持つこと				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 情報セキュリティ監査技術者として(コンサル、社員教育、監査・対策)などの業務経験を 活かし、学生に指導する			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	第1章 P.14～P.27	攻撃の目的、人的脅威、技術的脅威、物理的脅威、内部不正から誰から何を守るのか、セキュリティの基本的考え方			
2	第1章 P.28～P.39	適切なアクセス権やパスワードの安全性を高め、不正なログインから守る認証技術など			
3	第2章 P.42～P.53	盗聴、改ざん、なりすまし、不正アクセスなどのネットワークにおける攻撃手口			
4	第2章 P.56～P.71	ネットワークにおける各種攻撃手口への対策方法について			
5	第3章 P.72～P.83	ウィルスの種類とその対策方法やフィッシング、メールでの詐欺等の手口と対策方法について			
6	第3章 P.84～P.93	標的型攻撃、身代金要求マルウェアなどの手口と対策			
7	第4章 P.96～P.109	ソフトウェアの欠陥を狙った攻撃への対応と対策について			
8	第4章 P.110～P.123	脆弱性診断、セキュア・プログラミング、脆弱性情報の入手と共有について			
9	第5章 P.126～P.139	認証、改ざん対策での暗号やデジタル署名などのしくみ			
10	第5章 P.140～P.1153	Webサイト、メールの安全性、コード署名などのしくみや、より安全性の高い暗号方式などについて			
11	第6章 P.156～P.167	組織のセキュリティポリシーやPDCAIによる改善活動、インシデントの初期対応などについて			
12	第6章 P.168～P.179	考えられるリスクへの対応方法、ログ管理・監視、証拠保全など適切なリスクマネジメントについて			
13	第6章 P.180～P.189	組織として情報セキュリティを守り、事業継続性も考慮した対策について			
14	第7章 P.192～P.205	個人情報の取扱ルール、不正アクセス禁止法などの法律とルールについて			
15	第7章 P.206～P.217	コンピュータ犯罪、著作権、プロバイダー責任制限法などの法的ルール、国が規定するセキュリティ戦略と、関連資格について ※後期末テスト			
使用テキスト 教材・教具	『図解まるわかり セキュリティのしくみ』増井 敏克/翔泳社 (ISBN:9784798157207)				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	後期:小テスト50%、期末テスト50%で評価する				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	ビジネスアプリケーション			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	四田 素子			時間割	月曜 4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと 目的	ビジネスに必要な「Microsoft Word」「Microsoft Excel」「Microsoft PowerPoint」の基本操作を学習し、 実践できるスキルを習得する						
学習到達 目標	基本的なビジネス文書やイラストを用いた表現力のある文書、表やグラフ、各種関数が組み込まれた ワークシート、見やすく効果的なプレゼンテーション資料が作成できる						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Word ①		Wordの基本操作を学ぶ				
2	Word ②		Wordで基本的な文書を作成する				
3	Word ③		画像や図形、表を活用した文書を作成する				
4	Word 演習		Wordの復習として演習課題を解く				
5	PowerPoint ①		PowerPointの基本操作を学ぶ				
6	PowerPoint ②		オブジェクトを挿入し視覚効果の高い資料を作成する				
7	PowerPoint ③		プレゼンテーションに動きを設定する				
8	PowerPoint 演習		PowerPointの復習として演習課題を解く				
9	Excel ①		Excelの基本操作を学ぶ				
10	Excel ②		データを計算し表の体裁を整える				
11	Excel ③		いろいろな関数を利用する				
12	Excel ④		グラフを作成する				
13	Excel ⑤		データベース機能を利用する				
14	Excel ⑥		Excelの便利な機能を活用する				
15	Excel 演習		Excelの復習として演習課題を解く				
使用テキスト 教材・教具	『今すぐ使えるかんたんOffice for Mac[Office2021/Microsoft365 両対応]』AYURA/技術評論社 (ISBN:9784297127916)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、課題作成70%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	制作実習Ⅰ			時間数 (コマ数)	120 (60)	単位数	4
担当教員 (資格等)	池住 篤子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと 目的	Webページの仕組みを理解し、実践的なWebサイト制作が可能なレベルのHTMLとCSSの知識を習得する						
学習到達 目標	基本的な構造のwebページの作成技術を習得し、ランディングページを1つ以上作成する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	授業概要説明		授業内容、到達目標についての説明、webサイト制作の制作工程の把握				
2～4	企画、設計、デザイン		制作に入る前に必要な作業について確認する				
5～10	サイト模写①		サンプルサイトのコーディング解説を見ながらシングルページを作成し、一般的な構造のwebページのコーディングの流れを把握する				
11～12	サーバーアップロード		サイト公開のために必要な知識と環境設定を行う。ftpソフトを利用し、作成した模写サイトをローカルサーバー(テストサーバー)にアップロードする				
13～18	サイト模写②		サンプルサイトの完成図を参考にwebページを作成する				
19～30	イベント関連制作		学園祭イベントのための広告物作成、イベント実施のための準備等を行う。				
31～36	サイト作成		オリジナルのコンテンツ内容のページをサイト模写①又は②の構造を利用して作成する				
37～45	VFX入門		Visual Effects(ビジュアルエフェクト)制作入門として、AfterEffectの基本操作を学習し、簡単なテキストアニメーションを制作する				
46～56	ポートフォリオサイト作成		企画書を作成し情報設計後、デザインカンプを作成。素材を準備しコーディングする。完成後は各自の公開サーバー領域にデータをアップロードし、動作確認する				
57～58	作品発表準備		公開サーバー上のサイトの動作確認、および発表用資料の作成と発表練習				
59～60	制作発表		各自が作成したwebサイト等の作品を発表する				
使用テキスト 教材・教具	『なるほどデザイン(目で見えて楽しむ新しいデザインの本)』筒井 美希/エムディエヌコーポレーション						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	成果物(Webサイトおよび、印刷物等の作品)80%、グループ作業での貢献度20%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	制作実習Ⅱ			時間数 (コマ数)	120 (60)	単位数	4
担当教員 (資格等)	池住 篤子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	Webクリエイター学科 Webクリエイターコース1年		
授業科目の テーマと 目的	決められたグループごとに学内イベントや学外からの依頼を受けた、より実践的なサイト制作を行う。 並行して、個人でのサイト製作も行う。						
学習到達 目標	実践的なサイト制作を通じてサイト制作全体の流れを理解し、制作技術を向上させる						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	授業概要説明		授業内容、到達目標についての説明				
3～12	企画、設計①		個人作成サイトの企画、設計、進捗管理表の作成				
13～22	デザイン、制作		個人サイト、およびイベント関連の広告物を制作する				
23～34	企画、設計、デザイン、②		学内イベント告知サイトの企画およびデザイン案作成後、提案を行う(グループ制作)				
35～52	デザイン、制作		グループ、および個人作品の制作				
53～58	進級制作発表会準備		発表資料作成と進級制作発表会の準備作業を行う				
59～60	進級制作発表		進級制作発表を行う				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	成果物(Webサイトおよび、印刷物等の作品)80%、グループ制作での貢献度20%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							